



こんにちは、久世児童館です。子育てについてお困りのことや対応の仕方などのご質問をお寄せください。当児童館がでんしょばとになり、専門の方（子育てアドバイザー、保健師、保育士など）にお聞きし、その答えをまとめ、おたよりに掲載して皆さまにお伝えします。ご質問のある方は、HPのPDF、館内にあります質問用紙にご記入の上、館内外ポストまたはFAXでお寄せください。（お電話・メールでの相談は受け付けておりません）

★ご相談内容 ★★こうなあってほしい ☆☆☆回答、アドバイス



【きょうだい関係】（母より0歳11ヶ月男児について）

★ 姉3歳 弟0歳 姉を優先してしまい、弟の生活リズムが整わない。弟を放置してしまっている気がして、悲しい気持ちになってしまう。

★★ 元気つけてほしいです。

☆ 生活の中で、できそうなことから、おふたりのリズムを合わせていかれるのはいかがでしょうか？食事、起床、就寝、お昼寝時間は同じにできそうですか？これらは親主導で環境を整えると、習慣づけられると思われます。遊びの内容は違って当然ですから、1対1で。きょうだいの場合、どうしても上のお子さんに合わせた生活リズムになるとと思いますが、下のお子さんにはお昼寝を多い目にするなど、体調の負担にならないように気をつけるようにして。きょうだいはお互いを見て学びますので、一緒にする方が楽なことも多いです。

☆☆ 子育てに悩みはつきもの。100点母さんはいません。3回に1回、三割成功すれば上出来です。そしてそのお気持ちはお子さんに伝わっていますから。（子育てアドバイザー）

☆ お母さんは上の子に配慮してあげることは大事でもどちらを優先とか優先じゃないとか二分法で分けてしまうのは少し違うような気もする。どちらの子も大事…こんな心境ではないでしょうか？上のお子さんを優先にしているつもりでも上の子の子育て経験から要領よく子育てが出来て下の子に労力がかかってない気がするだけで実は排泄、食事と圧倒的に11ヶ月の下のお子さんと接する時間や機会が実は多いと思います。上のお子さんと接する時間や機会が少しずつ減っていく中で上のお子さんに配慮して気にかけてあげていてとてもよいバランスかと思えます。「0、1、2歳ぐらいの子どもは記憶に残らない」という言説が広がっていますがそのくらいの時期は、「あのときに誰が何をした」などという細かいエピソードはそんなに残りませんが、感情は残るとされていて例えば、一生懸命泣いて訴えたのに無視されて寂しかったとか、そういうネガティブな感情は残っていくといわれています。また、ポジティブな感情もちゃんと残っていくといわれています。お母さんのもどかしいお気持ちは上のお子さんにも下のお子さんにも充分伝わっているかと思えます。下のお子さんの生活リズムは上のお子さん中心の生活リズムに引っ張られるように整っていく事が多いので心配いらないと思います。もどかしいお気持ちを大切にしつつも、きょうだいバランスはしっかりとれているから大丈夫だと胸を張って子育てしていただけたらと思います。産後11ヶ月頃はこれまでの育児疲れが蓄積している頃です。ご自身のお身体もいたわりながら無理せず頑張ってくださいね。（保健師）